

カードゲーム 2030 SDGs のご紹介



ワークショップ

カードゲーム「2030 SDGs」は、SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するゲームです。さまざまな価値観や違う目標を持つ人がいる世界で、我々はどうやってSDGsの壮大なビジョンを実現していくのでしょうか。

SDGsという言葉聞いたことがない人やあまり興味関心がない人でもゲームが持つ親しみやすさと面白さで知らず知らずのうちに熱中し、楽しみながらSDGsの本質を理解することができます。

カードゲーム開発： **イマココラボ**
imacocollabo



カードゲーム 2030 SDGs の特徴

- ◆ SDGsの一見難解な概念を、ゲームで体感しながら学べる
- ◆ 興味関心を喚起しやすいので、本質への理解が早い
- ◆ その気づきを各人それぞれのテーマ設定に繋げることができる

このゲームはSDGsの目標を1つ1つ細かく勉強するためのものではありません。「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解するためのゲームです。

〈ファシリテーター〉について

ゲームの質を確保するため、**イマココラボの公認**ファシリテーターのみ実施が可能です。

JTB内にはファシリテーターが2名在籍、また、ファシリテーターネットワークを活用し日本全国での実施が可能です。

〈問い合わせ先〉

株式会社 JTB
企画開発プロデュースセンター
企画開発課（担当：大澤）
TEL:03-5539-2798
〒100-6012
東京都千代田区霞が関3-2-5
霞が関ビルディング12階

営業時間：平日9:30～17:30
（土日祝祭日休業）

国際交渉、カードゲームで体験 国連で外交官競う

【ニューヨーク=大島有美子】国際交渉をカードゲームで体験できるイベントが9日、国連の日本代表部で開かれた。貧困や気候変動など地球社会の課題解決を目指す「持続可能な開発目標」（SDGs）における交渉で、カナダなど8カ国・地域の外交官ら約20人が参加した。国際交渉のプロも、プロジェクトに必要なお金や時間集めに頭を悩ませていた。日本経済新聞 2019/4/10



※ニューヨーク国連本部で外交官を対象に実施されました。